

第2回辰巳ダムデザイン検討委員会 議事要旨

【日時】

平成18年2月2日(木) 13:30～16:00

【場所】

石川県庁 11階 1109 会議室

【出席者】

玉井 信行 委員長、川村 國夫 委員、北浦 勝 委員、橋本 澄夫 委員、
山岸 政雄 委員、吉田 等 委員、畦地 実 委員、石井 達夫 委員、
野尻 安司 委員 (計 9名) (鏝 隆弘 委員は欠席)

【会議概要】

1. 開会

・事務局の司会進行により、開会された。

2. 挨拶

・玉井委員長より、挨拶が行われた。

3. 議事

- 1) 議事の公開の可否確認
- 2) 第1回辰巳ダムデザイン検討委員会議事要旨の確認
- 3) 第1回辰巳ダムデザイン検討委員会での意見と今後の対応・検討方針
- 4) 景観デザインコンセプトの設定
- 5) 周辺環境整備のイメージ
- 6) 今後のスケジュール

・上記議事について、事務局より説明、各委員による質疑・意見交換がなされた。意見等議事内容については議事概要に示す。

4. 報告

・事務局より、辰巳ダム水理模型実験検討会(仮称)について、3月2日(木)に行う予定である旨の報告がなされた。

5. 閉会

・事務局より、閉会の挨拶が行われた。

【議事概要】

1) 議事の公開の可否確認について

- ・会議の公開について確認が行われ、委員の了承を得た。

2) 第1回辰巳ダムデザイン検討委員会議事要旨の確認について

- ・事務局より、第1回辰巳ダムデザイン検討委員会議事要旨(案)について説明が行われた。訂正事項等がある場合は、2月10日(金)までに連絡いただくこととし、修正の後、公開する旨の確認がなされた。

3) 第1回辰巳ダムデザイン検討委員会での意見と今後の対応・検討方針について

- ・事務局より第1回辰巳ダムデザイン検討委員会での主な意見である16項目について説明がなされ、今回検討を行う事項と次回以降の委員会にて検討・提示する事項など、今後の対応・検討方針について確認がなされた。

4) 景観デザインコンセプトの設定について

5) 周辺環境整備のイメージについて

- ・事務局より、景観デザインコンセプトの設定及び周辺環境整備のイメージについて説明がなされ、また、引き続き玉井委員長より土木構造物のデザインの考え方について説明がなされた。

- ・各委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

- ・金沢を特徴付ける戸室石(赤戸室・青戸室)を用いてはどうか。調達可能数量や強度などの課題について整理検討する必要がある。(石井委員、畦地委員、橋本委員、山岸委員、北浦委員、吉田委員)

- ・なまこ堀なども金沢を特徴付けるひとつであり、デザインの参考となる。(畦地委員)

- ・ダム堤体および減勢池の基本的な構造を変えないことは理解したが、機能充足を前提としたうえで、構造物の細部において曲線を取り入れる、あるいは直線だけで綺麗に構成するなど、具体的なデザインへの展開を期待する。幾通りかのデザイン案として提示してほしい。(山岸委員)

- ・基本コンセプトに上下流の連続性に関する文言を追加する。(鏝委員、野尻委員、玉井委員長)

- ・活かすべき資質にダムの機能美を追加する。(山岸委員)

- ・自然の遷移に委ねる場合の予測、モニタリング、結果等について報告してほしい。(鏝委員、玉井委員長)

- ・各ゾーンごとの基本的なコンテンツ(誰が・どこで・何をといった中身)についてしっかり検討していく必要がある。(川村委員)

- ・今後の周辺整備にとって、管理棟が重要な役割を果たす。(川村委員)

- ・維持管理や今後の運営に際し、地元住民やNPOの活用なども考える必要がある。(玉井委員長、川村委員、山岸委員)

- ・堤体の右岸上流、直上流の橋の活用について検討してほしい。(吉田委員)

- ・河道内及び河道付近の草対策などについても検討する必要がある。(石井委員、畦地委員、吉田委員)

- ・第2回委員会のまとめが委員長から提示され、意見の一致を見た。

- ・景観デザインコンセプトについて、一部指摘部分の文言の修正を行う他、概ね了承する。

- ・金沢の特徴や色合い、辰巳用水を活かすという内容を具体的なデザインに盛り込んでいく。

- ・検討結果をデザイン案という形で、次回以降の委員会で審議する。

6) 今後のスケジュールについて

- ・事務局より、辰巳ダム水理模型実験検討会(仮称)の報告と合わせて、今後のスケジュールについて説明がなされ、委員の了承を得た。